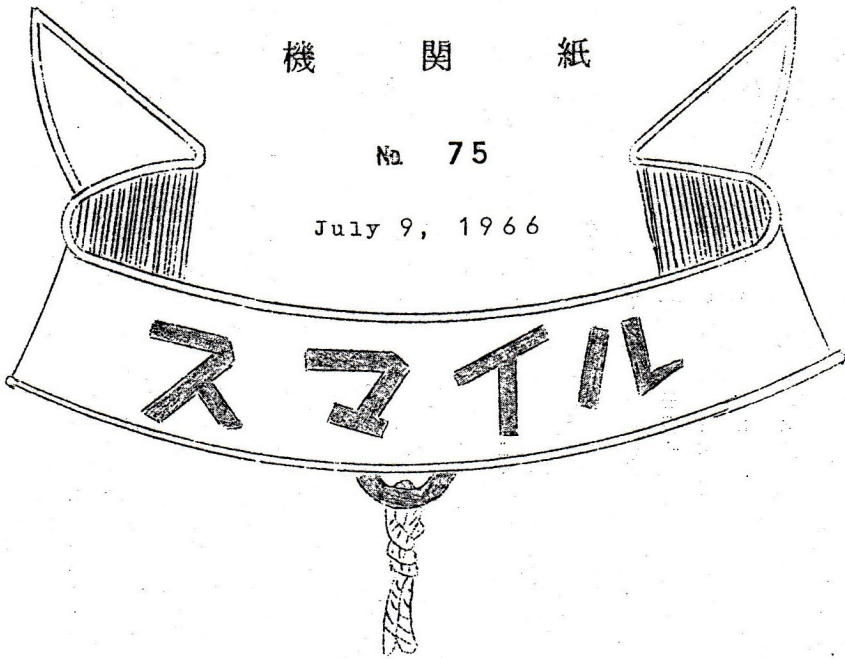


ボーイスカウト東京第四団

機 関 紙

No. 75

July 9, 1966



新らしき酒は新らしき革袋に

副団委員長

杉原

正

少年隊のためにご奉仕いただいた柳、金森両君が四月より社会人としての新スタートをきるため、少年隊長、副長を辞任されるのを機会に、永年にわたってお世話になった年少隊から離れ、ルック・ワイド（広い視野にたて）に従って四団の全体、とくに教育全般にわたっての小使い役として、教育担当の副団委員長の大任を負わされることになりました。

四団は従来指導者を中心にして団運営が行なわれ、健全な体制ではありませんでした。若い指導者へのバトンタッチと共に、受入れ側の団全体としての脱皮が必要になりました。

一つは育成会の強化であり、とくにメンバーの補強に迫られており、今後は教会員、OB、地域社会との結びつきを強化しつつ財政確立をはかってゆきたいと考えます。

一つは指導者の充実、指導者陣としての量は勿論ですが、心・技・体の三拍子揃った指導者の養成が必要であると思えます。

明年創立二十周年を迎える四団にとっては、よりよき発展のための体質改善が、何よりも大切であることを痛感しており、教会、ご父兄、指導者、スカウトの一致協力によって、この課題をはたしてゆきたいと念願しております。

昭和四十一年度団員会構成及び分担

○ 団委員長 田中正男

○ 副団委員長 杉原正

○ 同 右 美藤章

○ 総務部書記 里見明子 萩原昌子

庶務 平林英子 石川二三子

広報 河辺艶子

今井栄 菅谷豊子

高島伝子 遠山兼宏

西木久美子 書記 持地梓

○ 財務部会計 宇田川とし子 龍永久子

管財 遠山兼宏 鬼塚恭子

須田美彌子

行事 塩崎光子 三島千枝

中村千佳 沢田幸子

手塚雅子 盛田良子

飯清 斉藤道雄

小崎道雄 加藤静一

飯田貞雄 遠山兼宏

鬼塚恭子 今井栄

河辺艶子

○ 教務部

指導者スタッフ

年少隊 隊長 万石俊夫

副長(補) 高橋恒久

デンマザー増田純子 渡辺和子

鈴木徳子 伊藤洋子

少年隊 隊長 関口敦夫

副長(補) 戸田健次郎

大内丘 沢田明秀

年長隊 隊長(兼務) 杉原正

副長 大浜良友 佐藤洋

渡辺誠

青年隊 隊長 今田富士雄

副長 加藤理夫

〈報告〉

行事

|| 十九周年式典 ||

二月二十六日 教会礼拝堂において年少・少年・年長・青年隊合同で記念式典が行なわれました。

|| ダンス・パーティ ||

三月十一日 青年隊主催のダンス・パーティが松屋サロンにて開かれ、OBおよび連盟・地区役員も出席され、約三百五十名が参加し盛会に終わりました。

|| 年長隊春季キャンプ ||

三月二十七日〜三十日まで千葉県館山布良海岸で実施、十二名が参加。

|| 合同バスビクニック ||

四月二十九日 ガールスカウト共催のバスビクニックが、平林寺を目的地として行なわれ、バス四台に分乗して、ローバー・レンジャーの計画したプログラムにより、年長隊上級スカウトの指導によってスカウト、父兄一体となって楽し、過しました。参加者約二〇〇名。

|| 年少隊十二回目お誕生日 ||

六月十一日 年少隊の十二回目のお誕生日会が階下講堂において開かれ、新らしいスカウト六名が入隊しました。

|| 少年隊オーバーナイトハイキング ||

六月十八日〜十九日にかけて八王子市郊外、滝山城跡を目的地としてオーバーナイトハイキングが実施されました。

|| バザー開かれる ||

六月二十六日 正午より四時まで教会においてジャンボリー派遣資金の一助とするため小バザーが実施され、純益が約五万円に達し、ジャンボリー会計にくみ入れました。

団委員会

二月十九日(土) 出席九名

|| 報告および予定 ||

一、青年隊主催ダンスパーティ

一、十九周年記念式典

一、合同バスビクニック 費用約四百円

決定事項

育成会費は三口 (三〇〇円) 以上お願する。

その他

- 一、キャンプなど行事はできるだけ予算内で実施するように努めてほしい。
- 一、指導者の研修会を通して精神面の向上をはかってほしい。

三月十九日(土) 出席十六名

報告および予定

- 一、青年隊主催ダンスパーティ
- 一、年長隊春季キャンプ
- 一、少年隊春季ハイキング

協議

- 一、杉原年少隊長、柳少年隊長、金森少年隊副長、辞任を承認
- 一、育成会費・海外派遣基金について、その中間報告

海外派遣基金 三六五、七七四円
 教会改築基金 二二三、三二五円

その他

- 一、指導者の認命式を礼拝で行ったかどうか。

三月二十三日(臨時) 出席十七名

協議

- 一、杉原前年少隊長の副団委員長就任の承

認

- 一、新隊長・副長(補)就任の承認
- 一、今後の団委員会のあり方について(杉原)。

- 一、新任隊長の任期は一年とし来年度は適材を適所に配属させる。

- 一、育成会員の強化、O.B.、教会員、有志による育成会員の加入促進。

五月六日(金) 出席十七名

協議

- 一、団委員の役務分担(別表)
- 一、才四団規約原案の承認
- 一、ジャンボリー資金対策
- 一、会計年度を従来の九月～八月を四月～三月に改める。

- 一、新規約による賛助会員を募集する草案を作成する。

- 一、ジャンボリー資金援助としてバザーを開催する。

- 一、創立二十周年記念行事

- 式典・記念誌・パーティ・展示会・記念品・バスビクニックの六部門に分れ、責任者に杉原副団委員長 B.S 側 G.S

- 側から各々指導者が八名選出され、その任にあたる。

- 一、日下部君より寄附

- 一、中古輪転機購入について指導者より希望があり、期待に添うように計る。

報告

- 一、合同バスビクニックについて

五月二十一日(土) 出席十八名

- 一、総務部 団機関紙「スマイル」の発行とその内容について

- 一、財務部 バザー実施について

六月十八日(土) 出席十三名

- 一、報告および予定

- 一、ジャンボリーについて、参加者は四十名に決定

- 一、年少隊十二回目のお誕生会について

- 一、各隊夏季行事について

- 一、協議

- 一、バザー開催について

- 一、「スマイル」について

- 一、父兄総会

- 一、四月二日(土) 出席三十八名

- 一、団の現状報告

- 一、杉原副団委員長承認

- 一、新指導者の承認

- 一、五月二十一日(土) 出席五十四名

- 一、美藤先生お話

- 一、指導者紹介

- 一、団規約の説明と承認

- 一、

- 一、

一、ジャンボリーについて 一協力方ご依頼

一、海外派遣基金をジャンボリー派遣の基金に転用することを承認

一、各隊毎の父兄会(夏季行事について)

団会議

三月十二日(土) 出席十三名

一、人事移動(指導者バトンタッチ)

一、教会学校の先生との話し合いの場の設定

一、指導者のための研修会実施の希望(年

一、二回)

一、ジャンボリー参加について

三月二十四日(木) 出席八名

一、団委員会(三月二十三日)の決定事項の伝達

一、各隊の新任指導者は一年間の暫定的なものであることを

一、ジャンボリー 輸送は東京連盟のバスを利用することに決定。団内のジャンボリー役務分担は青年隊員が行ない、野営長には、杉原副団委員長が当たる。資材の運輸方法は検討中。

一、登録費二〇〇円を四月二日までに各隊で集めて納入する。

四月二十三日(土) 出席十六名

一、団名簿の作成

一、各隊の予算提出

一、団行事予定は五月上旬までに提出

一、記録様式の統一化

一、指導者の補充には一考を要する。原隊

優先の原則

一、指導者研修会年二回開催する。

一、団の規約と案内の改正を承認

五月十四日(土) 出席十六名

一、「教会とスカウト活動」飯先生のお話

一、団規約の説明と承認

一、夏季キャンプについて

六月十一日(土) 出席十六名

一、夏季キャンプについて

○年少隊 七月二十一日～二十四日伊東

ユースホステル

○年少隊 八月下旬、月の輪キャンプ

ICU

○年少隊 八月中旬 未定

○日本ジャンボリー八月五日～九日 岡

山県日本原

一、他隊奉仕について(青年隊)

一、育成会費各隊振りあて(支出部門)

年少隊 八五、一六〇円

少年隊 五七、五五〇円

年長隊 四一、〇〇〇円

人物往来

○白神先生目黒教会に

副団委員長として永らく御奉仕いただきました白神先生は、三月末で靈南坂教会での任期が終り、四月より目黒教会に移られるため退任されました。

○大学四年生社会人に

四団に関係していた左記の方々が就職され、四月から社会人としてスタートをきりました。

柳 健一(前少年隊長) 日立家庭電器

金森勝芳(前少年隊副長) 三木製作所

五十野和男(前年長隊副長)

日下部英一(元年少隊副長補) 伊藤忠自動車

大島啓義(元年少隊副長補) 東京日産自動車

伊藤洋子(年少隊デンマザー) 日本女子体育短大助手

○万石年少隊長 新スタート

万石年少隊長は専修大学を中退し、日本写真専門学院に入学されました。

○田中団委員長米国視察に

大学のご用で九月三日まで約八十日の日程で米国、欧州での会議に出席されます。

トビックス

○杉原副団委員長 実修所にご奉仕

年少部東京才四期実修所が、千葉県富津において三月二十六日～三十一日まで開設され、実修隊の隊長としてご奉仕されました。

○今田青年隊々々長 課長に就任

ライオン歯磨に勤務されておりました今田隊長は四月より近県販売課の課長として活躍されております。

○青年隊 A I P P I に奉仕

世界各国から代表が集ってヒルトンホテルで開催された、世界工業所有権協会日本総会に、六月十一日～十六日まで英語に苦勞しながら無事奉仕を終えました。

○杉原副団委員長 編纂責任者に

日本連盟が明春出版予定をしているデンチーフハンドブックの編纂責任者の委嘱をうけました。

昭和四十一年度予算 (支出)

項目	全体	年少隊	少年隊	年長隊
会議費	二〇、〇〇〇			
機関紙	二四、〇〇〇			
通信費	一一、〇〇〇			
事務費	一一、〇〇〇			
分担金	四、〇〇〇			
慶弔費	五、〇〇〇			
指導者研修費		五、〇〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇
野外費		五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇
備品費		一一、〇〇〇	三〇、〇〇〇	一五、〇〇〇
表彰費		八、一六〇	一、〇〇〇	五〇〇
徽章費		五、〇〇〇	二、〇五〇	一、〇〇〇
シンボリ基金	五〇、〇〇〇			
	一二七、〇〇〇	八五、一六〇	五七、五五〇	四一、〇〇〇
	三二〇、七一〇			

編集後記

従来青年隊のメンバーによって編集されてきた機関紙が今回より団委員会の所管に移りました。今回は、しばらく発行されていなかったため、事務処理を中心とした広報活動に重きをおき、次号からは、編集委員の方々のご意見を入れながら編集していきたいと思えます。ご希望、お気付きのことがありましたら、編集委員までお申越下さるようお願いいたします。

次号は夏季行事を中心とした編集になる予定です。

スマイル 才七五号

発行日 昭和四十一年七月九日発行

発行人 田中正男

編集人 杉原正

発行所 港区赤坂靈南坂町十四

日本ボーイスカウト東京才四団